[事案 2024-13] 新契約取消請求

・令和6年12月17日 裁定終了

<事案の概要>

募集人の説明が不十分であったこと等を理由に、契約の取消しを求めて申立てのあったもの。

<申立人の主張>

令和3年11月に銀行を募集代理店として契約した積立利率変動型年金について、以下等の理由により、契約を取り消して、既払込保険料を返還してほしい。

- (1) 万一の場合には、実家の家族に金銭が支払われるようにしたいと募集人に伝えたが、指定代理請求人と継続年金受取人についての説明がなかった。
- (2) 募集人に対して、元本保証の商品を望んでいることは伝えていたが、市場価格調整により、10年後も解約返戻金が一時払保険料を下回る可能性があることについて説明がなかった。

<保険会社の主張>

以下等の理由により、申立人の請求に応じることはできない。

- (1) 募集人は、指定代理請求人や継続年金受取人について、適切に説明を行った。募集人の説明を受けて、申込時点より、本契約の死亡給付金受取人には両親、指定代理請求人には兄弟が指定されている。なお、継続年金受取人は申込時には決めかねていたため、募集人のアドバイスをを受けて後日指定することとし、後日、兄弟を指定する手続が行われている。
- (2) 募集人は、申立人の意向を受けて本契約について説明している。その際、年金受取期間中の年金一括受取には、市場価格調整の適用により支払総額が一時払保険料を下回り、損失が生じるおそれがあることについて、募集資料を用いて複数回にわたり適切に説明している。

<裁定の概要>

1. 裁定手続

裁定審査会は、当事者から提出された書面にもとづく審理のほか、募集時の説明内容等を確認するため、申立人および募集人に対して事情聴取を行った。

2. 裁定結果

上記手続の結果、申立人の請求は認められず、その他保険会社に指摘すべき特段の個別事情も見出せないことから、和解による解決の見込みがないと判断して、手続を終了した。